

## 第 50 回 コンパス薬局 スキルアップ勉強会

### 『ラタノプロスト PF 点眼液 0.005% 「日点」』

(株)日点 様

2016.3.8

記録：佐藤直富実

参加者：阿部 青野 川原 小西 近藤 佐藤（敬称略、五十音順）

=ラタノプロスト PF 点眼液 0.005% 「日点」について=

#### 【警告】

なし

#### 【禁忌】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

#### 【効能・効果】

緑内障、高眼圧症

#### 【用法・用量】

1 回 1 滴、1 日 1 回点眼する。

#### 『用法・用量に関連する使用上の注意』

頻回投与により眼圧下降作用が減弱する可能性があるため、1 日 1 回を超えて投与しないこと。

#### 【副作用】

重大な副作用：虹彩色素沈着（頻度不明）

虹彩色素沈着があらわれることがあるので、患者を定期的に診察し、虹彩色素沈着があらわれた場合には臨床状態に応じて投与を中止すること。

その他の副作用：結膜充血、結膜炎、眼脂、結膜濾胞、ぶどう膜炎、虹彩炎

#### 【使用上の注意】

1. 本剤の投与により、虹彩色素沈着（メラニンの増加）が現れることがある。虹彩色素沈着及び色調変化について十分説明する。この色素沈着は投与により徐々に増加し、投与中止により停止するが、投与中止後消失しない。虹彩色素沈着による色調変化が現れる可能性があり、特に片眼治療の場合、左右眼で虹彩の色調に差が生じる可能性がある。
2. 本剤投与中に角膜上皮障害（点状表層角膜炎、糸状角膜炎、角膜びらん）が現れることがある。しみる、そう痒感、眼痛等の自覚症状が持続する場合には、直ちに受診するよう指導する。
3. 本剤を閉塞隅角緑内障患者に投与する場合は、使用経験が少ないことから慎重に投与する。

4. 本剤の点眼後、一時的に霧視が現れることがあるため、症状が回復するまで機械類の操作や自動車等の運転には従事しないよう指導する。

《開栓操作方法》

キャップを閉めたまま、キャップを上向きにして両手で持つ。

容器の中央の丸いマークを両手の親指で強く1回押す。

フィルターが開栓され、薬液が出るようになる。

【考察】

緑内障治療においてラタノプロスト PF 点眼液を使用する場合、まずフィルターの開栓作業が必要となる。初めて患者へ調剤する場合はその作業について丁寧に説明しなくてはならない。初めての場合は投薬時に1本開栓してお渡しするのも良いと思う。ただし、防腐剤フリーの点眼液なので、その防腐剤により炎症をきたす患者には有効と考えられる。

【質疑応答】

Q. ボトルの構造はどうなっているのか？

A. キックマンのしぼりたて生しょうゆと同じ構造。ボトルは二重構造、フィルター部はダブル逆止弁キャップになっている。そのため点眼液が空気に触れることはない。

Q. 開栓作業に不安のある患者のために、処方された点眼液を全て開封してお渡ししても良いか？

A. 開栓後の使用期限は1ヶ月を目安とするため、それは避けた方がよい。

Q.

A.

以上